

統計課資料 第1494号

2018年漁業センサス 漁業経営体調査結果報告書

(平成30年11月1日調査)

令和2年3月

宮城県震災復興・企画部

は　じ　め　に

この報告書は、平成 30 年 11 月 1 日現在で実施された「2018 年漁業センサス（海面漁業調査）」について、本県分の漁業経営体調査結果のうち主要な項目をとりまとめたものです。

漁業センサスは、我が国漁業の生産構造、就業構造を明らかにするとともに、漁村、水産物流通・加工業等の漁業を取りまく実態を総合的に把握し、水産行政の推進に必要な基礎資料を整備することを目的として、農林水産省が昭和 24 年以来、概ね 5 年ごとに実施しています。

さて、近年の漁業を取り巻く環境は、資源状況の悪化や漁業就業者の減少、高齢化等の厳しい状況が続いており、本県においては、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災による影響も根強く残る調査結果となっております。

本報告書が、本県の水産行政の基礎資料として利用されることはもとより、広く関係各方面において御活用いただければ幸いです。

終わりに、この調査の実施にあたり御協力をいただいた漁家、漁業協同組合、調査員及び市町村をはじめとする関係者各位に対し、厚くお礼申し上げます。

令和 2 年 3 月

宮城県震災復興・企画部長 後 藤 康 宏